

【(本会)ワークショップ用シート】令和元年度東淀川区運営方針自己評価への意見(魅力あるまちをつくろう！部会)

送付資料

【経営課題1】 自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	達成状況	部会(7月8日)での意見	
人と人のつながりづくり・多様な主体の連携による自助・共助を担う地域コミュニティの確立・地域力の向上を支援	【戦略1-1】 地域活動の活性化のための支援 (自己評価概要版2p)	1-1-1 地域活動協議会を中心とした地域活動への支援	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・地活協と区役所が1つになって取り組む。 ・いろいろな立場の人が連携。 ・他地域の活動の状況を知りたい。 ・受け手が欲しい情報発信。 ・地域づくりアドバイザーの存在を知る場がない。もっと広く周知を。 ・地域づくりアドバイザーを頼りやすい仕組みづくりを。 ・地域の魅力、まちの紹介などの発信に、地域づくりアドバイザーの活用を。 ・地域担当制は、防災の取り組みのみなので関りが薄い。もう少し、関係を深めたい。 ・地域保健福祉計画の策定過程で、新しい繋がりや新しい取り組みにつなげることができた。他の地域でもぜひ作成してほしい。 	
		1-1-2 地域担当制による協働のまちづくり	未達成		
		1-1-3 区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組みへの支援	未達成		
	【戦略1-2】 にぎわいのある元気なまち (自己評価概要版3p)	1-2-1 新たな担い手の発掘支援と地域・企業・教育機関・行政の連携による魅力あるまちづくり	達成		<ul style="list-style-type: none"> ・対企業のほうが取り組みを進めやすいが、地域住民をいかに巻き込むか。 ・区民まつりも来年につなげることができるような取り組みを。 ・区民まつりもこれまで関わってこなかった世代も対象に。(オンラインの活用など) ・東淀川エール飯を活用して、飲食店の周知やコラボ企画など。 ・魅力発信も広報が課題。 ・オンラインで発信している若い人と地域をつなげる。 ・西部地域まちづくりのメンバーが疲弊してきている。 ・西部地域まちづくりの取り組みが長期化し、将来像が見えてこない。 ・西部地域まちづくりの情報の共有を。 ・西部地域まちづくりの振り返り結果がなぜ全員でない。(15名の委員が対象なので、全員から入手すべき。)
		1-2-2 まちの魅力発信	達成		
		1-2-3 区民による西部地域まちづくり	未達成		

【経営課題5】 区民の役に立つ区役所があるまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	達成状況	部会(7月8日)での意見
広く区民ニーズを把握し、的確に区政に反映させることで、住民参画型の区政運営を行うとともに、情報発信力の強化に取り組む。また、来庁者に寄り添いながら、その目的を快適・迅速・確実に達成できる窓口運営を行っていく。それらの実現のため、区民の役に立つ区役所を担う職員づくりに取り組む。	【戦略5-1】 区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営 (自己評価概要版11p)	5-1-1 区民等の参画による区の特성에応じた区政運営の推進	未達成	<ul style="list-style-type: none"> 【5-2】伝えて、行動につなげる情報発信力の強化 ・欲しい情報が入ってこない。 ・区ホームページは更新されていない情報が多い。(更新日が古いままの分は、一定期間で更新してほしい。内容が変わってないのか、更新漏れなのかわかりづらい。) ・情報のスピード感。情報発信が遅い。 ・重要事項は、広報紙の号外を発行できないか。 ・SNSで情報は若い人限定。年代に沿った情報発信ができないか。 ・地活協を活用した情報発信を。 ・SNSの登録数の増加を。 【5-3】快適・迅速・確実な窓口サービス ・最近の窓口対応が良くなってきた。 【5-4】区民の役に立つ区役所を担う職員づくり ・職員が快適に働ける環境や人員配置を。 ・職員の質の向上を。
		5-1-2 広聴相談・総合窓口機能の充実	未達成	
	【戦略5-2】 伝えて、行動につなげる情報発信力の強化 (自己評価概要版12p)	5-2-1 区民が必要とする情報発信の強化	達成	
		5-2-2 行動につなげる情報発信力の強化	未達成	
	【戦略5-3】 快適・迅速・確実な窓口サービス (自己評価概要版13p)	5-3-1 心地よい窓口サービスの提供や利便性の向上	未達成	
		5-3-2 民間活力・ICTを活用した窓口サービスの向上	達成	
	【戦略5-4】 区民の役に立つ区役所を担う職員づくり (自己評価概要版14p)	5-4-1 着実・確実な事務処理、コンプライアンスの確保等の取組み	未達成	
		5-4-2 効果的な施策を企画・立案・実行する主体性・チャレンジ意識を持った職員づくり	未達成	

【(本会)ワークショップ用シート】令和元年度東淀川区運営方針自己評価への意見(教育・健康・福祉部会)

送付資料

【経営課題2】 こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	達成状況	学習会(7月15日)での意見
<p>・地域全体のつながりの中でこどもを守り、子育て世帯の支援ができていない状態をめざす</p> <p>・こども自身が自らの力で成長していく「子育て」を地域全体で支え、将来の地域活動の充実にめざす</p>	<p>【戦略2-1】 こどもとおとなが互いに元気になるまち (自己評価概要版4p)</p>	2-1-1 あらゆる世代が子育てに関わっていくための切れ目のない施策の推進	未達成	<p>・あらゆる世代とあるが、各世代がどのような層なのか、具体的にイメージできれば関わる側の支援にも広がりが出ると思う。</p> <p>・切れ目のない支援とあるが漠然としているので対象者をはっきりしたほうが良い。</p> <p>・事業内容を知ってもらうことが関わるきっかけになるので、支援を広げていくためには地域の方への周知が大事である。</p>
		2-1-2 地域の誰もが自由に集まれる「居場所」づくり支援	未達成	<p>・「居場所」をしっかりPRしてほしい。知れば利用しようと思う人も増えると思う。</p> <p>・世代間交流ができれば、なお良いと思うが人手不足が課題である。</p> <p>・こどもの居場所がもっと広がれば良いと思う。</p>
	<p>【戦略2-2】 すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」、「共育」のまち (自己評価概要版5p)</p>	2-2-1 「生きる力」を身に付けるのに重要な自尊感情の向上	未達成	<p>【2-2-1】</p> <p>・読み聞かせ事業の目的と指標のずれがあるように思う。こどもが興味をもつ事と親が読み聞かせを取り入れることがどうつながるのかわかりにくい。</p> <p>・ゲストティーチャー派遣事業のいのちと性の授業は、赤ちゃんとのふれあいなど良いと思う。</p>
		2-2-2 子育て世帯を含む地域住民の交流促進	未達成	
		2-2-3 分権型教育の推進	未達成	

【経営課題3】 福祉と健康にみんなで取り組むまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	達成状況	学習会(7月15日)での意見
<p>地域や行政をはじめ、地域に関わる全ての人の力を合わせて、共に生き共に支え合い、地域での「声かけ」「見守り」「支え合い」「助け合い」といった自助・共助による地域コミュニティが確立され、乳児から高齢者、障がいのある方などの誰もが住み慣れた地域で健康で安全・安心に暮らせるまちづくりをめざす。</p>	<p>【戦略3-1】 共に支え合い共に生きるまち (自己評価概要版6p)</p>	3-1-1 複合課題世帯への支援	達成	<p>・「くらしのみのり相談窓口」の認知度が高まってきて、(新型コロナで生活困窮された方等)多くの方が、住居確保給付金の申請等ができたことは評価できると思う。</p>
		3-1-2 生活困窮者の自立支援	未達成	<p>・「くらしのみのり相談窓口」の周知がある程度できてきて、自身で来所・相談される方も増えてきたようだが、一方で、(支援は必要でも)地域で孤立した困窮者等もおられると思うので、そのような方をどう把握し、支援につなげていくかが課題。情報が得られない方もおられるので、より地域の小さい単位で「くらしのみのり相談窓口」の周知が必要。</p>
		3-1-3 要援護者の見守り活動等への支援	未達成	<p>・要援護者の見守りでは、地域住民が地域福祉コーディネーターや見守り相談室等とも連携して、その方のニーズに気づき、寄り添った支援をしていくことが必要だと思う。</p>
	<p>【戦略3-2】 いきいきと暮らす健康づくりに取り組むまち (自己評価概要版7p)</p>	3-2-1 いつまでもいきいきと自分らしく過ごすための健康寿命延伸への取り組み	未達成	<p>・「がん検診の通知を受け取った後、予約の電話を架けるが、つながりにくい。」という話を(まわりの方から)よく聞く。一旦電話を架けても、話し中だと再度電話することを失念してしまい、受診の機会を逃してしまう。電話がつながりやすくなれば、受診件数は増えると思うので、(電話を受ける)体制等を充実させることが必要ではないか。</p> <p>・区内には、歴史的な場所や建物等もあるので、例えば「区長と区内をウォーキングする会」を年に1~2回行って、区民の健康への関心を高めるのもよいと思う。さらに、まち歩きボランティアガイドを講習会等で育成し、区外からも歩くために来てもらえたら、より良いと思う。</p> <p>・いきいき百歳体操については、参加者が増加傾向にあるため、3密を避けた開催方法の工夫が必要である。運動を継続することで、仲間づくりのほか「メタボリックシンドローム」や「ロコモティブシンドローム(運動器症候群)」の予防効果等も期待できるので、もっともっとPRをして広げていってほしいと思う。</p> <p>・在宅医療等の啓発については、これまで人が多く集まるイベントで行っていたと思うが、今後は、密を避ける方法で行っていきよう、工夫する必要があると思う。</p>
		3-2-2 高齢者等の在宅医療・介護連携の推進	未達成	

【(本会)ワークショップ用シート】令和元年度東淀川区運営方針自己評価への意見(安全・安心部会)

送付資料

【経営課題4】安全・安心のまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	達成状況	部会(7月3日)での意見
<p>安全で安心して暮らせるまちづくりのため、地域において多様な主体の連携・協働により防災・減災活動、防犯活動、交通安全活動が進められ、地域住民が自主的・主体的に参画している状態をめざす。</p>	<p>【戦略4-1】 防災意識が高いまち (自己評価概要版8p)</p>	<p>4-1-1 区民の防災・減災の意識向上</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意識が公助を求める傾向にあるが、まずは自助の意識がないと生き残れない。区民に自助を促し様々な層が自然と自助に取り組めるような施策を。 ・出前講座を59回実施されているが、区職員の人数が限られているので、地域の人々に研修等人材育成をしてもっと地域密着型を進めるべきである。 ・備蓄品はシンプルでいい(米、水、カセットコンロ、缶詰) ・学校等で防災の話をするときは、統一した内容での周知が必要。
	<p>4-1-2 地域防災・減災力の向上</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民との繋がりが地域防災力の向上に繋がる。防災を掲げたイベントだけでなく地域で行う他のイベントにも防災を絡め、地域活動そのものが防災に繋がるような施策の推進を。 ・地域の高齢者等、災害弱者に対する施策の充実を。見守り名簿等を災害時に活用できるような仕組みの整備をお願いしたい。 ・協定締結や確認書締結とあるが、具体的にどのような内容なのか？流れのわかるフロー図がほしい。役所のやっていることの区民への見える化が必要。 ・小学校だけでなく、中学校を避難所とした場合の施設の活用について、具体的に検討・整理してほしい。地域境界に隣接する住民の避難の動きやボランティアとしての動きなどの想定が必要。 	
	<p>4-1-3 福祉・医療分野との連携</p>	<p>未達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校を避難所とした取り組み、見守りの名簿の活用等、防災の取り組みとして成功している他区・他地域の成功例を教えてください。 ・自助も確かに重要だが、共助・公助も大切。特に平常時こそ、近所づきあいや助け合いの中で知識や情報をもらえる。 ・区役所が行った講座の回数が成果指標に用いられているが、講座やイベントに参加する人は一部の人ということと、講座に行けない人もいる。防災の情報が一部の人にしか伝わっていないのではないか。また、コロナの影響で人に集まってもらうことが難しいことを考えると、今後どうすることが良いのか悩ましい。 ・防災の情報については、そもそも情報発信の場としての講座やイベントが少ないのか、情報発信の仕方が悪いのか、情報をキャッチする側と何かうまくいっていないのか、検証が必要では。 	
	<p>【戦略4-2】 防犯意識が高いまち (自己評価概要版9p)</p>	<p>4-2-1 地域安全防犯対策</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り結果のアンケート調査で93.7%「達成」となっているが、元々講習会に参加する意識が高い人が対象者のため、高いのは当たり前。もっと広範囲にとるべきでは。人数270名は区人口17万の僅か0.16%であり母数としては少ない。全体に通じることだが、「達成」となっていると意見を出しにくい。 ・地域の青パトや青少年指導員の巡回、年末夜警をしているが、地域で3~4か月に1回やってはどうか。誰がするかが課題。 ・青パトのコースがいつも同じ。狭い道を徒歩でパトロールしても防災や防犯上いいのではないか。例えば災害時の逃げるルートの確認にもなる。 ・特殊詐欺被害が増加している。一人暮らしの高齢者が狙われているのでこの方たちに対する具体的な施策の推進を。 ・受け子防止ステッカーを80歳以上の方に配布してくださいと地域に下りてきたが、ネットで取り組みが流れていたことや、逆に標的にされるのではと地域では不評だった。
	<p>4-2-2 重点犯罪の抑止</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発だけでなく、対応方法の訓練や、防止ツールの整備(補助金やキャンペーン)のための取り組みを。 ・防犯カメラについて、公園に企業連携で設置する件はうまくいかなかったようだが、効果的な箇所に増設は継続してほしい。 ・コロナ禍の影響として、こどもの登下校の時間がバラバラになり、自肅等で大人の監視の目も減ったので狙われやすいのでは。新たな考え方が必要では。 ・こども110番の家はどうなっているのか。 ・自肅で夜間パトロールもしばらなくなかったが、やはり大事な取り組みだと思う。夜遅くまで公園で騒いでいたりする。 ・コロナの影響があって以降、こどもを狙った事件が増えている気がする。安まちメールを見ていて感じるのだが。 	
	<p>【戦略4-3】 交通安全への意識が高いまち (自己評価概要版10p)</p>	<p>4-3-1 自転車ルール・マナーの啓発</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から状況がガラッと変化したので自転車マナー啓発にも活用させるチャンス。 ・自転車乗車中「自転車・歩行者」と書かれている所と無い所、違いは？ルールが分かりづらい。ルールの明確化。 ・あおり運転厳罰化と絡めて交通ルールの遵守の重要性を意識させる取り組みを。 ・マナーは良くなっていないと感じる。スマホ、逆走等、こどもも大人も。 ・一旦停止等の路面標示が薄くなり認識しにくい。手入れをしっかりとしてほしい。 ・歩車分離の意味等知らない人が多い。表示がある所と無い所があるので整理してほしい。交通ルールを知っている人は注意をするものの知らない人が多くなかなか伝わらない。
<p>4-3-2 交通安全運動の推進</p>	<p>達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜に自転車で電気をつけない人がおり危ない。 ・道路工事中のエリア(淡路の駅周辺等)は、自転車もあつちからこつちから、車も来るし非常に危ない。左側通行とかルールもあるのかないのか。 ・自転車も最近スピードも出て人身事故になると危険。電動自転車早い。ウーバーイーツ増加。自転車の取り締まりが少ないのでは。 ・車から見て左折時特に大変危険。啓発は難しいが、根気よく継続が必要。 ・警察にももっと自転車に指導してほしい。目立つところに立ってほしい。 ・防犯や交通安全全般の広報紙のスペースが少ない。 		